

平成29年度 第1回 COC 実施本部会議 議事録

平成 29 年 5 月 10 日(水)
午後 5 時 45 分～午後 6 時 7 分
場所:本部大会議室

出席者:清水学長、齋藤教育開発センター長、橋本学生部長、大島研究開発推進センター長、西谷事務局長、木村企画部長、森地域連携推進担当課長、山村学生支援部長、中井教務担当課長

【議 題】

1. 平成 29 年度 COC 関連科目の開講状況(履修者数・社会人履修生/反応/課題)について
清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目 I ～IV

科目 I ……144 名 科目 II ……117 名
科目 III ……58 名(内、社会人3名) 科目 IV ……64 名(内、社会人4名)

「伊勢志摩共生学実習(地域インターンシップ)」A～D

伊勢志摩共生学実習名	履修者数	伊勢志摩共生学実習名	履修者数
春 A【a】(担当:千田)	4	秋 A【b】(担当:近藤)	1
春 B【a】(担当:近藤)	7	秋 B【b】(担当:千田)	6
春 C【a】(担当:池山)	3	秋 C【b】(担当:近藤)	6
春 D【a】(担当:板井)	3	秋 D【b】(担当:齋藤)	3
春 D【d】(担当:池山)	1	秋 D【c】(担当:千田)	2
春 D【e】(担当:齋藤)	2		
			合計 38 名

プロジェクト研究 I・II の履修登録者数

プロジェクト研究 I ……38 36 名 プロジェクト研究 II ……34 15 名

※プロジェクト研究 I 及び II の履修登録者数を訂正いたしました。

最終的に、地域をテーマとした卒業論文を 70 名(1学年の1割)で設定。今年度の科目 I の履修者数が 144 名であるので、副専攻も絡めながら順調に推移していけば最終年度の 70 名にとどくのではと期待している。

『伊勢志摩定住自立圏共生学』の副専攻申請者(2年次)数

副専攻申請者数……39 名

学科別	履修者数
神道学科	1
国文学科	22
国史学科	2
コミュニケーション学科	1
教育学科	0
現代日本社会学科	13

審議の結果、異議なく了解された。

2. 伊勢市長との懇話について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

- ・CLL活動「ごみ分別ガイドブック作成事業」
- ・5月18日(木)午後4時30分～午後5時(30分間) 伊勢市役所東庁舎5階にて
- ・学生5名

伊勢市の鈴木市長が、ごみ分別ガイドブックを作成した学生達を評価したいということで、プレス発表が伊勢市役所にて行なわれる。担当教員の齋藤教授が引率する。

審議の結果、異議なく了解された。

3. CLL 活動について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

- ・平成29年度新規および平成28年度より継続の活動
- ・参加学生(学校行事参加者)

今年度は取り組みも多く、5月に「CLL活動説明会」を毎週月曜・火曜日のお昼休みに学生ラウンジにて開催している。財務部管財担当より学生の居場所がなくなるのではとの心配・指摘があったが、今後説明場所については開催して様子を見ながら検討する。

審議の結果、異議なく了解された。

4. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラムの行政チャンネルを利用した配信について

- ・平成29年試行配信自治体、番組制作体制・経費の検討①

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

JMOOCでの配信予定であったが、文部科学省から経費が下りず、要検討課題であった。そこで、各自治体の行政チャンネルを利用して配信できないか相談したところ、本学側で番組を制作すればそれを配信することは難くないと返事を得られた。今年度は試行のため、複数社見積もりを取り、学内経費をやりくりし1～2番組程度を制作したい。次年度に向けては、伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会で番組制作費の計上について相談していく。

審議の結果、異議なく了解された。

5. 『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目Ⅲ・Ⅳ事後学修教材で、MediaDEPO を使って学内

HPに公開、学生の閲覧体制の構築について

- ・本件に係る科目Ⅰ・Ⅱの取扱方針、学内への反転授業普及方策について①

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

MediaDEPO使用方法としては、素材は三重銀総研担当のⅢ・Ⅳの授業終了後、その中のエッセンスを復習用として4～5枚のスライドで作ってもらうよう依頼している。UPは授業終了後、MediaDEPOの中のパワーポイント機能に文字を打ち込むと自動で音声読み上げをしてくれる仕組みがありそれを使用していく。いずれは、学

内のFDとしてシステムを活用したい。

審議の結果、異議なく了解された。

6. 平成 29 年度 研究(プロジェクト研究等)について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

	種目	研究課題	研究期間	研究代表者
新規	科研基盤研究 (C)	日本列島のリアス海岸における中期更新世 海成段丘の高分解能地形面編年	平成 29 年度～ 平成 31 年度	近藤 玲介
新規	受託研究	「住民参加型まちづくりワークショップにおけ る対話プロセスの研究」(玉城町)	平成 29 年度	池山 敦

COC関係のプロジェクト研究として、この2件を今年度新規として追加する。

審議の結果、異議なく了解された。

7. その他

特記事項なし

【報 告】

1. 平成 28 年度自己点検・評価委員会及び外部評価委員会(3 月)報告

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

外部評価書を作成。順調に推移しているとの評価をいただいている。報告事項4にあるが、6/1 に今年度の外部評価委員会を開催予定である。

2. 文部科学省統一指標フォローアップアンケート実施状況

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

・全学部学生／全教職員／伊勢志摩定住自立圏市町

・文部科学省提出締切日:5 月 26 日(金)

5 月 10 日時点の教員の回収率は、71.5%。未提出の教員に向けて、5 月 17 日(水)の教授会にて提出をお願いする。

3. 平成 28 年度 CLL 活動時間認定について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

今回配付した資料は、平成 28 年度第8回COC実施本部会議にて報告後新たに申請があった学生一覧である。これで平成 28 年度地域貢献活動(CLL活動)は、参加学生が延べ 135 名、3,867 時間と報告する。

4. 平成 29 年度自己点検・評価委員会及び外部評価委員会(6 月)の開催について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

開催日時:平成 29 年 6 月 1 日(木) 皇學館大学 9 号館 1 階 911 小会議室
9:30～10:30 自己点検・評価委員会

10:40~12:10 外部評価委員会
12:20~12:50 昼食および意見交換

5. その他

特記事項なし

平成 29 年度 第 2 回 COC 実施本部会議は、平成 29 年 6 月 14 日(水)、本部大会議室で開催されることが確認された。